

ENGAWA

2012年 1月号



■表紙のことば

天竜区佐久間町に昨年3月にオープンした「縁側カフェ 結」。ここでは、天竜の人工美林が一望でき眼下を流れる小川のせせらぎがBGMとなる。そんな空間で、お茶と甘味をほおばれば、まさにこの世の楽園です。

目次

■特集 木々に囲まれたカフェ

3年前、沼津市から佐久間町の魅力に取りつかれ移住した山田さん夫妻。地域のために何かできないかと縁側カフェをオープン。今回は、この緑の中に生まれたカフェを通して、中山間地域の活性化について考えます。 ページ2-5

■エンガワトピックス

- 夢創造人養成講座STAGE 2北区 ページ6
- 中山間地域交流ネットワーク ページ7

■Check!!

まだ間に合うセンターおすすめの情報やセンターからのお知らせをご紹介します。要チェック！



平成20年に駿東郡清水町から佐久間へ移住した山田夫妻の軌跡をたどります。

特集 木々に囲まれたカフェ

田舎暮らしへのあこがれ

ご主人の修平さんは、人や車が行き交う山形県山形市出身。それも、駅前賑やかなまちで生まれ育った都会人。

けれど、学生時代から山登りやアウトドアに傾倒しており、時にはテントを背負い込み、線路沿いを歩きながらその日、気に入った河原にテントを張り夜を過ごす。翌朝には、また線路道をあてもなく歩いて行く事を趣味としていた。

都会育ちであっても、根っからの自然派志向の修平さん。いつかは静かな木々に囲まれて、のんびり過ごせる場所に住みたいと、若い時から思っていたという。

全国を駆け巡った会社員時代

もともと修平さんはCD制作会社に務めていた。

会社に務めていた当時は、大阪や石川など全国各地を駆け巡り、忙しい日々を送っていた。やがて転職が訪れ清水町に越し、これを契機に夢だった和菓子職人の道を歩みだす。

和菓子職人になってからも、順調な日々を送りはじめていた。ところが時代の流れと共に清水町にも高層マンションが乱立しはじめ、日々の暮らしは、コンクリートの壁に囲まれているような、圧迫感のある息苦しい暮らしに変わっていた。

清水町から移住の決意

「清水町といえば、柿田川に代表される湧水が豊富で、自然に溢れたまちと想像する方も多いのでしょうか。ところが、近年は朝から晩まで多くの車が行きかい、マンションも多く東京のベッドタウンのような所なんです」と修平さんはいう。



ご主人の山田修平さん
と和菓子職人をしていた



と奥様の山田ひろ子さん
は移住に後ろ向きだった



一区切りとなる定年までの時間も目前に迫っていたある日、再び転機が訪れる。



ある日の新聞記事

「新聞に、こんな写真があったんです」その記事は緑豊かな山を背景に中年の男性が大きく両手を挙げ、伸びをする写真だった。そこに写っていた男性は、NPO法人がんばらまいか佐久間の事務局長をしている、河村秀昭さん。

河村さんは、数年前、東京から佐

久間に移住し、現在は、田舎暮らしを満喫している。そんな河村さんの写真を見た修平さんは「いいなあ」と学生時代に胸にあった思いが蘇ってくる感覚を味わいながら、しばらくその写真を見つめていた。

不安と問題

初めて佐久間の地を訪れた山田さん夫妻は、佐久間の雰囲気や自然に感動し、NPO法人がんばらまいか佐久間の河村さんを訪ねる。田舎暮らしを楽しんでいる姿に、増々移住への気持ちが高まっていった。

その後、移住できる空き家も見つけ、移住が現実味を帯びていく中で不安も出てきた。「1番心配したのはトイレ。くみ取り式のトイレを水洗にすることは出来るのか、それが大きな不安でした」と、妻のひろ子さん。

しかし、問題も解消でき、3年前に駿東郡清水町から佐久間町へ移り住んだ。

移住への大きな決め手をひろさんはこう話す。「頼りになるNPO法人も設立されていきましたからね。移住者が多いところよりも地元の方が多いところへ移住したかった」

一方、修平さんは「山深い場所だが、そこが僕は好き。一口でここが好きとは言えないほど、佐久間町全体の雰囲気が好きなんです」

都市部からの来訪者

移住から2年が経過した秋のある日、新しい出会いがあった。浜松市市民協働センターで、都市部と中山間地域の間で活躍できる人材を養成する、夢創造人（ドリームクリエイター）養成講座の受講生との出会い。



料金500円はあくまで休憩料。お茶とお菓子はサービスで提供される。

受講者は、夏から講義や実地研修を主に受けており、移住者の話を伺い、見聞を深める目的で山田さんのご自宅を訪れた。

会話がはずむ中で、受講生がこう言った。「ここなら縁側カフェができますよ！」

縁側カフェ

静岡大学・小櫻教授の田舎暮らしの講義で、学んだ縁側カフェが受講生の頭の中に残っていたのだった。

小櫻教授の実例は、静岡市大間地区ですで行われているもので、過疎化が進み地域に活気が失われていく中で、教授が提案した縁側カフェを地元民が開設。それによって再び活気が戻ってきたという。そればかりか全国ネットでテレビ放映された実績があった。

縁側カフェは、昔ながらの日本家屋にあった縁側に腰かけ、地元の人とお話を楽しむというもの。縁側に腰掛けるための休憩料を設け、お茶とお茶受けはサービスで提供されるのだ。

テレビ放映をきっかけに、全国的にも認知されつつある新しいカフェの形。

話を聞いた山田さん夫妻は即座に「やってみよう」と声をあげた。移住してからあたたかく迎え入れてくれた佐久間へ、何か恩返しができないか。そんな思いが、夫妻の心の中にくすぶっていたからだ。

これこそ佐久間地域の人の寄り処や、活性にも繋がると思い、さつそく地域の人たちに相談すると、「いいね。やってみなよ」と縁側カフェの開設を快諾してくれたという。

佐久間人のあたたかさ

縁側カフェは”結”と名付けた。名付け親のひろ子さんは、人が集い繋がる場所にしたいという思いからつけたという。

いよいよ縁側カフェ結が動き出すとする時に、再び佐久間の人々の優しさが二人に力を注いだ。お店の看板、イスなどを地域の人たちが一つ一つ手作りしてくれたのだ。その時の気持ちをひろ子さんが語る。

「まさかここまで地元の人たちが協力してくれるとは思っていなかった。本当に多くの人に支えられて縁側カフェをオープンできました。オープン前から多くの人と”結”ばれていたんだと感じ、改めて”結”という名前に縁深さを実感しています」

縁側カフェ結 発進

冬の冷たい風がおさまり、山が生



地元の人達が作ってくれたイスやテーブルもちろん手作りの品だ。

きものの新たな生命を宿し始め、暖かな陽気につつまれ始める2011年3月。『縁側カフェ結』が待望のオープンを迎えた。

来訪者は、浜松市内の中心部にとどまらず、磐田市や掛川市、静岡県東部地域からも押し寄せた。

オープンから2カ月後には、新聞などにもとりあげられ、愛知県や神奈川県からも噂を聞きつけ、人々がやって来た。



浜松駅方面から国道152号を北上し、飯田線の鉄橋を超えた所に縁側カフェ結の案内看板が出ている。



浜松の宝 佐久間にあり



縁側カフェ結
浜松市天竜区
佐久間町相月
515
営業時間
土日祝日のみ
10:00-16:00
問合せ
053-987-2320
(山田さん)

挑戦すればなんでもできる

オープンから9ヶ月経った12月。山田さん夫妻に現在の縁側カフェ結の様子や、佐久間での生活を改めて伺った。

「最近、若い方がツーリングの途中に、国道沿いにあるうちの看板を見ておみえになる人もいます。国道から木が生茂った細い道を通ってくるので、『冒険をしているような気分、このカフェを探しにきた』という方もいらっしゃるんですよ」とひろ子さんは笑う。

二人に、佐久間に移住してきて感じたことや変わったことを再度聞い

てみると、こう答えた。「不安な事を探すより、楽しい事を探していくことが大事。不安な事を思ったら何もできない」と夫婦は、口を揃えた。

とにかく前を向いて一步一步踏み出していけば、変わり続けられる。

それに年齢は関係ない。決して無理をせず、自分のペースで踏み出していけば、きっと物事は良い方向に向かっていく。二人のお話は、私たちに、そんな事を教えてくれたのではないだろうか。

今回は、ご夫婦でのチャレンジ。

けれど、これらの教えは社会貢献活動を実践するすべての市民・団体の励みになることばではではないだろうか。

全国を駆けまわった山田さんが、人生の集大成の地として、愛してくれた浜松。わたしたちの住む街には実は、わたしたちが、浜松市外に求めていたものがたくさんあるのではないのだろうか。

ゆっくりと流れる時間。そこにある緑と生命の息づかい。人のあつまりがうまれる場所。そんな素敵な空間を佐久間にみつけた。

ENGAWA トピックス



いなさの皆さん、ありがとうございます。

昨年7月より行われてきた、夢創造人養成講座。地域の市民活動を実践し、広域的な視野で、他の団体や行政、民間企業との間に立って支援ができる人材を育成するために実施しました。北区引佐地区を中心に講座やフィールドワークを実践し、北区の魅力や人との交流を通して新たな宝を見つけました。



1.龍潭寺参道を歩く 2.渋川のお祭り。屋台の曳き手が年々減少しているという。3.田舎体験に憧れている多くの人を受け入れ続けている伊藤八右氏 4.横尾歌舞伎保存会のみなさんとの交流会。5.竜ヶ岩洞の鍾乳石。6.無形登録文化財横尾歌舞伎の支度部屋。7.奥山みやま写真館。8.開通がせまった新東名高速道路。全長5kmに及ぶ直線。



守れ！地域資源



上／天竜区ここほれワンワン塾 塾長板橋さんの手ほどきで間伐体験。右／みかんの収穫体験。東日本大震災で被災された方も笑顔に。



中山間地域ボランティア

交流ネットワーク事業

浜松市の委託を受け、中山間地域ボランティア交流ネットワーク事業を行なっています。

中山間地域の人々と交流することにより、互いにメリットのある助けあいの輪を広げることを目的としています。

昨年12月には北区細江町にて、東日本大震災で被災された方を対象に、みかんの収穫のお手伝いをしました。

また渋川では、手入れ不足で冬になると、人工林が車道を覆い、それによって道が凍結。車両事故が多発する箇所があると、住民から相談を受けました。そこで、天竜区から講師を招き、間伐を行いま



日露戦争を凱
念しられた
門し建戦争
旋念し建戦
門し建戦争
念し建戦争
念し建戦争

した。この日は、間伐以外にも日本に2つしかない凱旋門の1つを見学。100年の歴史が刻まれた凱旋門を前に、参加者からは感銘の声があがりました。地元の方との交流は、地場の食材を使った美味しい昼食をしながら。

中山間地域との事業は、まだ始まったばかり。今後のセンターの情報を、お見逃しなく。



上／渋川親水公園にある寺野のひよんどりを紹介する、からくり人形。
下／竜ヶ岩洞ようきた洞にある、イルミネーション。



■ 浜松市は東日本大震災で被災された皆さまから応援していただき
中山間地域交流ネットワークが実施する

中山間地域交流ネットワーク
勝坂神楽(春野町)
継承者募集

勝坂神楽とは
400年余りの伝統がある「勝坂神楽」は、天下太平、武運長久、氏子繁昌、五穀豊穡をお祈りするものです。

将来に継承していくために
しかしながら、神楽継承者が不足し、将来にわたって、この伝統文化を受け継いでいくことが不安になってきています。そこで、浜松市天竜区春野地域以外からも、この神楽を共に継承していただける団体、個人を募集します。

笛、太鼓、神楽舞の継承者、中でも移住者は大歓迎します。

勝坂神楽保存会

勝坂神楽見学会
とき 10月23日(日)
集合 午前9時30分、市民協働センター
定員 5名
※ご希望の方は、市民協働センターへ

申し込み問い合わせ先
勝坂神楽見学会
〒430-0929 浜松市中区中央1丁目13-3
電話 053-457-2616 FAX 053-457-2617
E-Mail kyoudou@machien-hamamatsu.jp

浜松市天竜区春野町で毎年秋に行われており、400年余りの伝統がある「勝坂神楽」は、天下太平、武運長久、氏子繁昌、五穀豊穡をお祈りするものです。

しかし、神楽継承者が不足し、将来にわたって、この伝統文化を受け継いでいくことが不安になってきています。そこで、浜松市天竜区春野地域以外からも、この神楽を共に継承していただける団体、個人を募集しています。

募集しているのは、笛、太鼓、神楽舞の継承者、移住者は、大歓迎します。関心のある方は、浜松市市民協働センターへ、お問い合わせください。

中山間地域交流ネットワーク
アートの森づくり協力者募集

この森をアートの森に... やがてアーティスト村へ
浜松市天竜区春野町

河原の石に、リアルな猫などを描き続けている「はれるや工房」さん。緑豊かな春野町は、芸術創作活動に適した場所だと、この地に移住してきたご家族です。その、はれるや工房などが、中心となってアーティスト村実行委員会が、立ち上がりました。

この活動に、ご理解ある山の提供も見つかりました。そこで、森の中で、創作活動してみたい、あるいは、若きアーティストの支援をしたいというみなさんで、森をアートの森に、やがてアーティスト村へと行動を起こしていただける仲間を捜しています。

関心のある方は、浜松市市民協働センターへお問い合わせください。

※募集しているのは、犬の写実絵画をすべて行われているもので、「はれるや工房」様の写実絵画です。また、猫の写実絵画のチームも予定されています。

■ 浜松市は東日本大震災で被災された皆さまから応援していただき

河原の石に、リアルな猫などを描き続けているはれるや工房。

緑豊かな春野町は、芸術創作活動に適した場所だと、この地に移住してきたご家族です。その、はれるや工房などが、中心となってアーティスト村実行委員会が、立ち上がりました。

そこで、森の中で、創作活動してみたい、あるいは、若きアーティストの支援をしたいというみなさんで、森をアートの森に、やがてアーティスト村へと行動を起こしていただける仲間を捜しています。

関心のある方は、浜松市市民協働センターへ、お問い合わせください。

登録団体 募集中!

情報配信
利用料金減免
ブログ・Facebook掲載

浜松市市民協働センターでは、日頃から社会貢献活動をされている市民活動団体のみなさまへの市民活動団体登録(通称 登録団体)をすすめています。

市民協働センターの登録団体に登録していただくと、みなさまから寄せられた情報を協働センターのメーリングリストやブログなどのインターネットサービスを使い、広く情報発信をするお手伝いをさせていただきます。市民協働センターの施設利用が通常の利用料より半分の利用料でご利用いただけるようになります。市民協働センターホームページより申請用紙をDL下さい。